

2018年4月27日  
東京ガス株式会社

2018年3月期決算説明会  
主なQ&A

- Q1：2018年度見通しにおいて、都市ガスの他社へのスイッチングをどのように織り込んでいるのか。
- A1：現在のスイッチングのペースを念頭に置きつつ、営業努力により、最大限抑止していくことを織り込んでいる。従来からのエネルギー事業者だけでなく、様々なプレイヤーが新規参入を表明しており、それぞれの攻め手に応じて取り組んでいく。
- Q2：2018年度見通しにおける「ガスセグメント」の費用増は、年金数理差異償却額の増加の他にどのようなものがあるか。
- A2：積極的な投資に起因する減価償却費のほか、2018年度に稼働する基幹システムへのデータ移行費用といった、一時的な固定費の増加等がある。
- Q3：今後の株主還元政策について、どのように考えているのか。
- A3：これまで通り、現在の総分配性向60%という方針を2020年度まで維持する。

以上